



平成 26 年 7 月発行  
発行部数 24,000 部  
編集・発行  
(公財)横浜市緑の協会  
横浜市こども植物園

# よこはま こども植物園だより

No.138(夏号)

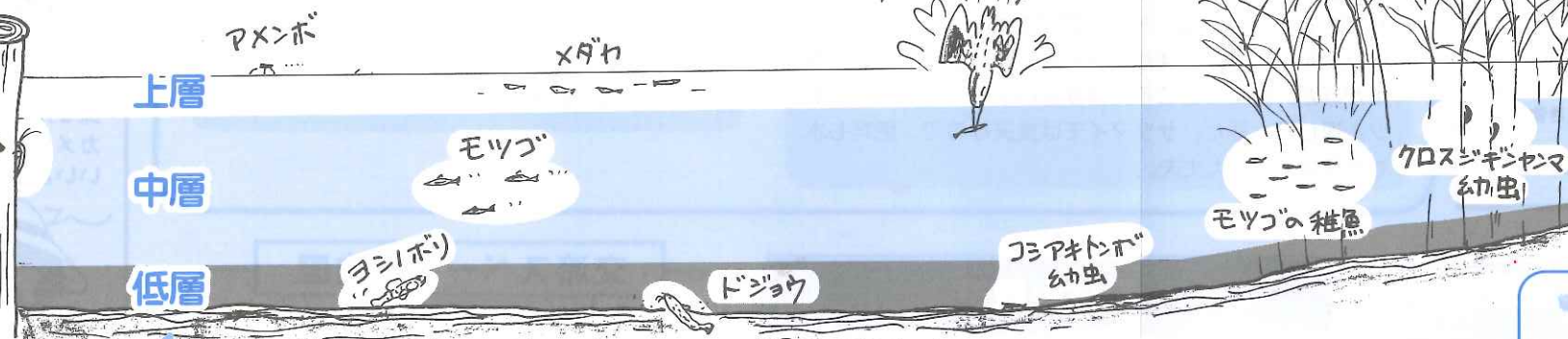
〒232-0066 横浜市南区六ツ川 3-122  
Tel 045-741-1015 FAX 045-742-7604  
開園 9:00-16:30 (第3月曜日は休園、  
祝日の場合は翌日)  
<http://www.hama-midorinokiyokai.or.jp>

発見! せいぶつ た ようせい  
生物多様性

近くの公園や市民の森の水辺にも、いろいろな生きものがいるよ。探してみよう。どんな場所にどんな生きものがいるんだろう、生きもの同士はどうつながっているんだろう、それを知ることが「生物多様性」を知る一歩なのだ。ちょっとかっこいい?

## 水辺の生きものたち

池や流れ、湿地などいろんな水辺に、いろんな生きものがくらしている。池では、水面近く、少し深いところ、池の底などの環境の違いで住み分けているよ。そして、いろんな生きものたちはつながり合って生きている。



水辺に  
はり出した木に  
産卵する

“オオアイトトンボ”

モツヅ・ドジョウ・  
スジエビが  
食べる

モツヅなどの  
小魚を食べる

アメンボが  
キャッチ!

カワセミ

クサガメ

コサギ

オニヤンマの幼虫

### 池の上層にいる 生きもの

水面スレスレのところ

メダカ



体長 2~3cm

池や小川に住む。目が大きく飛び出している小さな魚で、全国で絶滅が心配されているよ。横浜に住むものは「ミナメダカ」だ。

### ● 守ろう「横浜メダカ」 ●

横浜のメダカは、各川の流域ごとにことなる遺伝子を持つといわれている。それぞれのタイプごとに大切に守られているので、購入したメダカやよそで採集されたものを自然に放すことは、交雑をまねき横浜メダカの多様性をそこなうことになる。気をつけよう!

### 池の中層にいる 生きもの

やや深いところ

モツヅ



体長 10cmほど

横浜ではクチボソとよばれている身近な小魚で、池や川のゆるやかな流れに住む。

スジエビ



体長 5~6cm

透明な体に黒いしま模様があるエビで、池の水草の中に住む。

### 池の低層にいる 生きもの

池底付近や泥の中

ヨシノボリ



体長 5cmほど

ハゼのなかまで水底をユーモラスにおよんでいるよ。横浜に住むものはトウヨシノボリとよばれているが、現在種類については研究中で、新しい名前がつかかもしれない。

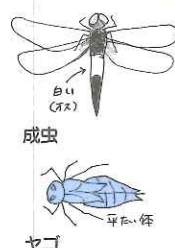
ドジョウ



体長 15cmほど

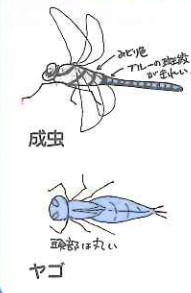
細長い体で口ひげがあるおなじみの魚だ。池や田んぼの泥の中でよく見かける。

コシアキトンボ



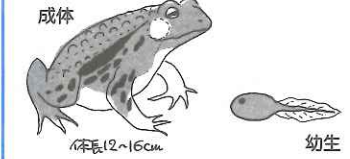
黒と白の模様をしたトンボだ。池の岸にそってすばやく飛び回る。ヤゴは平たく黒っぽい色をしていて、水底にくらしている。

クロスジギンヤンマ



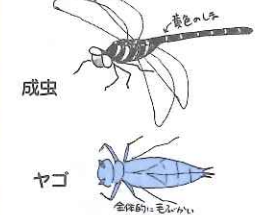
ギンヤンマによく似た大型で美しいヤンマだ。やや小さい池に住み、ヤゴは大型で水草につかまってくらしている。

ヒキガエル



うす茶色をした大きなカエルで、ノソノソと歩くがたをよく見かける。横浜に住むものは「アズマヒキガエル」だ。オタマジャクシは黒く小さな体で、3月頃から、たくさんの群れで泳ぐ姿が見られるよ。

オニヤンマ



日本最大のトンボ。小川など流れにそって飛び姿を見かける。ヤゴは毛深く、流れの泥底にもぐってくらしている。

### SOS 外来生物が問題だ!!

ミシシippアカミミガメ



縁日のカメすくいでおなじみのミドリガメが成長したもの。アメリカ南部からメキシコ原産で日本にはペットとして輸入された。じょうぶで強く、野外にはなされたものがもともと日本に住むクサガメやニホンイシガメのすみかをうばい絶滅に追いやっている。

ブラックバス



北アメリカ原産の肉食性の大型魚だ。神奈川県芦ノ湖に最初に放流された。釣ブームとともに全国にひろまり、日本の魚やエビのなかま、水生昆虫を食べている。特にゲンゴロウやエビなどは食いつくされ、絶滅した池がいくつもあるんだ。

ウシガエル



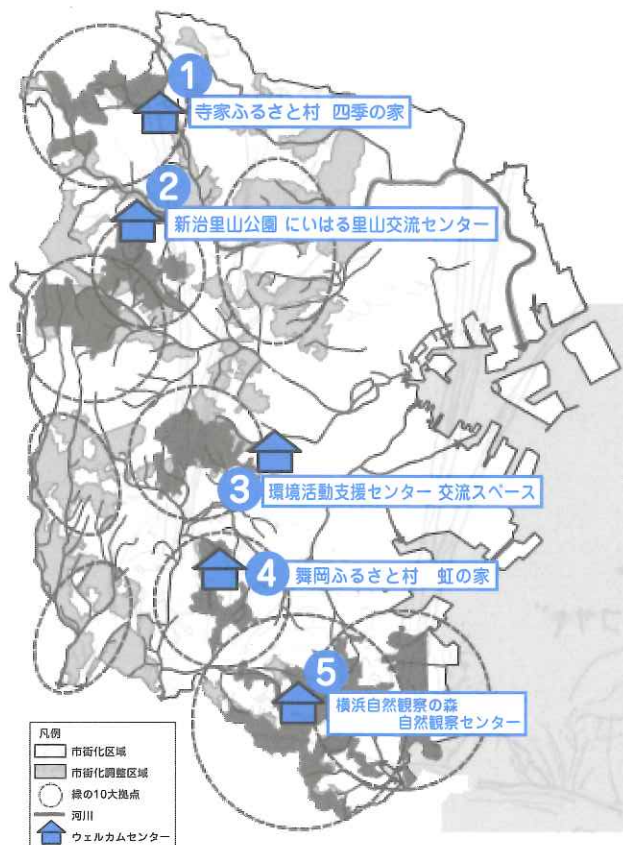
北アメリカ原産で、1918年に食用として輸入され繁殖していたものが逃げ出し、全国に広がった。昆虫、魚やカエル、小型のヘビや鳥などを食べる。牛によく似た声で鳴くよ。



# 森にウエルカム

横浜みどりアツム計画

みんなのお家の近くには森や林はあるかな？横浜には身近に自然を感じることもできる「市民の森」があり、その森の情報発信をする基地が5か所できました。森のことや里山の自然や文化について知りたい人、森の生き物に親しむイベントに参加したい人は行ってみよう！



## 1 寺家ふるさと村 四季の家

寺家の農業や自然についてのパネル展示があり、市民の森の散策情報も紹介しています。  
所在地：青葉区寺家町414 TEL:045-962-7414

## 2 新治里山公園 にいはる里山交流センター

新治の自然や里山文化のパネル展示のほか、観察会や自然体験型の教室も開催しています。  
所在地：緑区新治町887 TEL:045-931-4947

## 3 環境活動支援センター 交流スペース

環境活動支援センター本館に、横浜の森を紹介する「環境活動支援センター交流スペース」が4月11日（金）にオープンしました。いきものと親しむイベントも計画しています。遊びに来てね！  
所在地：保土ヶ谷区狩場町213 TEL:045-713-6350

## 4 舞岡ふるさと村 虹の家

舞岡の農業や歴史、里山の自然や文化のパネル展示があり、市民の森の散策情報も紹介しています。  
所在地：戸塚区舞岡町2832 TEL:045-826-0700

## 5 横浜自然観察の森 自然観察センター

森の生き物のリアルタイムの情報のほか、自然の専門家レンジャーが常駐しています。森の生き物についていっぱい聞いてみよう！  
所在地：栄区上郷町1562-1 TEL:045-894-7474

# 環境活動支援センター 交流スペースイベント

## 小学生から大人のための自然観察 いきもの編

月に一回森や野原に住む生き物を観察したり、触れ合ったりします。

申し込みは不要です。開催日に交流スペースにおいでください。雨天でも実施します。

開催時間：10:00～12:00

○7月の観察 7月27日（日）「トンボ教室～トンボの見分け方」横浜のトンボのお話と観察。トンボの展示。

○8月の観察 8月3日（日）「夏の昆虫観察会」カブトムシをはじめとする雑木林の昆虫を観察します。

○9月の観察 9月28日（日）「秋の昆虫観察会」トンボ、チョウなどの観察を行います。

○10月の観察 10月26日（日）「アカトンボ観察会」アカトンボのお話と観察会。

## 小学生から大人のための自然観察 植物編

月に一回森や野原に住む生き物を観察したり、触れ合ったりします。

申し込みは不要です。開催日に交流スペースにおいでください。雨天でも実施します。

日時：10:00～12:00

○9月の観察 9月7日（日）植物の葉っぱ集め

○10月の観察 10月5日（日）ドングリを探せ

○11月の観察 11月2日（日）森の色集め

○12月の観察 12月7日（日）落ち葉のいろいろ

# 野菜畑 夏の作業

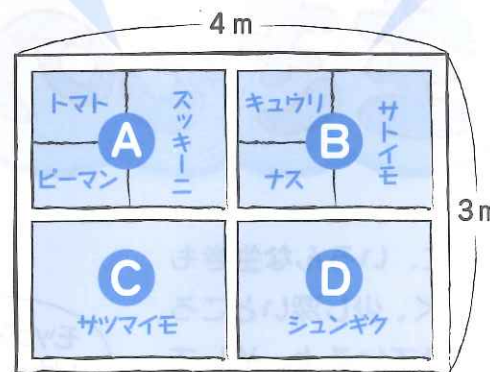
春号でスタートした畑づくり。季節の作業をアドバイスします。

## A 収穫できる→ トマト、ピーマン、ズッキーニ

トマト、ピーマン、ズッキーニはどんどん実がつくから収穫しよう。トマトは赤くなったら収穫できる。ピーマンはだんだん大きくなるのでちょうどいいサイズになったら収穫だ。ズッキーニは20センチから25センチになったら収穫。

## B 収穫できる→ キュウリ、ナス

キュウリは実がつくとアツという間に大きくなる。毎日見に行き、大きくなりすぎる前に収穫しよう。ナスとサトイモは乾燥を防ぐため敷きわらをしく。わらがなければ、草取りした枯草でもいいんだ。地面が乾いたらたっぷり水をやる。ナスは実が熟すと種がかたくなってまづくなる。柔らかいうちに収穫しよう。8月半ばに株全体の半分くらいまで切りつめると、一か月くらい後に柔らかい秋ナスが収穫できる。



## C 収穫できる→ サツマイモ

サツマイモのツルは夏に入ると、どんどんのびてくる。ツルが地面にふれると、そこから根を伸ばし未熟なイモができることがある。それを防ぐため、1か月に一回くらいツルを地面からはがすツル返しをしよう。伸びたツルがほかの野菜のところにいかないようにするためにもツル返しは必要だ。サツマイモは丈夫なので、肥料も水もやらなくても大丈夫。

## D 収穫できる→ シュンギク

5月にまいたシュンギクは間引き菜から収穫して、そろそろおしまいだ。8月には全体を収穫して9月にダイコンのタネをまくため畑を整理しよう。

## 夏休み教室

### ◆思い出のフォトスタンドを作ろう

日時：8月23日（土）

午前の部 10:00～11:30

午後の部 13:30～15:00

募集人数各回：小学生から大人まで10人

費用：300円

### ◆昆虫標本づくり

日時：8月24日（日）

午前の部 10:00～12:00

午後の部 13:30～15:30

募集人数各回：小学生から大人まで10人

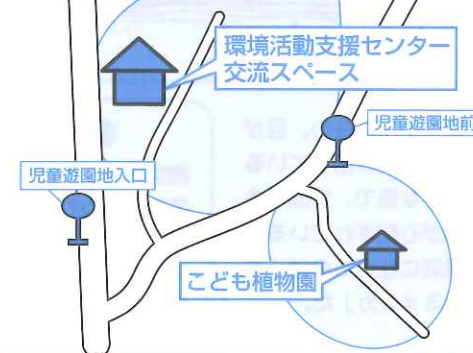
費用：600円

両日とも申し込み：7月26日（土）9時から、直接交流スペースに電話045-713-6350

（土日の9時～17時のみ受け付け）ください。

各回10人先着順。

## 交流スペース案内図



# こども植物園イベント

## 変化アサガオ展

江戸時代に大流行した変化アサガオを展示します。ナデシコ咲や獅子咲など、変わったアサガオがいっぱいです。

開催日時：8月16日（土）～8月31日（日）

開催場所：こども植物園池の前広場

※8月18日（月）は休園日です。



市民の森にハイキングに来たみどりちゃん一家



## こども植物園からのお知らせ

横浜市こども植物園では研修棟および事務所棟の耐震・改修工事を7月末から翌年3月末まで行う予定です。来園の皆様にはご不便をおかけいたしますが、安全第一に工事を進めますので、よろしくお願い申し上げます。なお、園内は期間中も従来通り見学いただけます。夏の花、秋の花を例年通りお楽しみください。